

昭和十一年一月一日發行（毎月）一冊（月刊）

道路の改良

W
5

第一號 第十卷



道路改良會發行

正 賀

途 用

鋪 裝 用 (道 路、床、校 廳)
 絶 縁 用 (電力、電信、電 管)
 防 水 用 (地下鐵道、地下室陸根屋、
 マンホール貯水池、タンク)
 クッション用 (電車軌道、高架鐵道、
 橋梁、コンクリート構造物)



ユニオンアスファルト

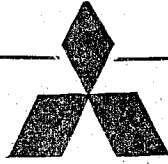
特 徴

品 質 均 等。規 格 正 確。純 瀝 青 分 最 多 量。
 延 韌 度 最 強。伸 張 度 膠 着 力 大。價 格 低 廉。
 米 國 カ リ フ オ ル ニ ヤ ユ ニ オ ン 石 油 會 社 總 代 理 店

淺野物産株式會社

東 京 丸 内 海 上 ビ ル デ ィ ン グ
 大 阪 瓦 町 山 口 ビ ル デ ィ ン グ

正 賀



鐵橋

永年經驗

熟練セル職工

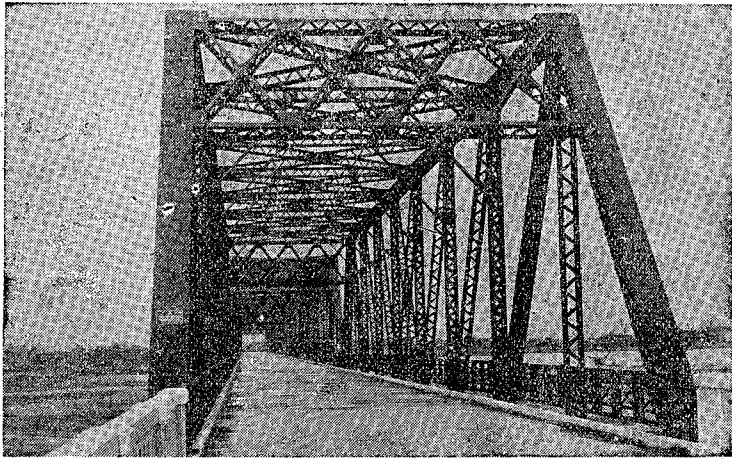
完全セル特

種設備

堅牢

廉價

優良



◎最近納入シタル主ナルモノ

内務省復興局法恩寺橋、親父橋、赤羽橋
江東橋、菊川橋、彈正橋、吉野橋、水道
橋。鐵道省門司及釧路架設鐵橋。兵庫縣
加古川鐵橋。長野縣篠ノ井鐵橋。土佐電
氣軌道株式會社鏡川鐵橋。播丹鐵道株式
會社加古川鐵橋。小田原急行鐵道株式會
社全線鐵橋等ニシテ何レモ噴々タル好評
ヲ博シツ、アリ。

三菱造船株式會社

本店

東京丸ノ内

工場

長崎造船所 長崎市飽ノ浦
神戸造船所 神戸市和田崎町
彦島造船所 下關市外彦島
長崎兵器製作所 長崎市茂里町

研究所

東京本郷駒込

正

賀

最も經濟的の道路鋪裝液體 アスファルト ビチユマルス

直接混合用

マカダム注入用

コンクリート道表裝用

アスファルト道表裝用

表面處理用

小穴修理用

プラトフォーム鋪裝用

校庭雨天體操場テニスコート鋪裝用

工場、倉庫の土間及床鋪裝用

五大特色

- A 絶對加熱を要せず手軽に使用し得
- B 晴雨濕潤に關係なく四季を通じて施工し得
- C 在來の砂利道路をそのままにして施工し得
- D 施工費安價維持修繕簡易にして經濟的に施工し得
- E 絶對に夏季熔出せず又冬季に迂ることなし

アスファルト

屋上、地下室防水用
貯水池、堰堤防水用
其他一切の防水工事

パンフレットは御申
込次第贈呈します。



日本液体アスファルト工業株式會社

横濱市山下町四十六番地 電話本局(2) 二四一五番

液体アスファルト工業所

比叻・スルマユチ一東關手販賣並工事施工

東京市神田區萬世橋小泉ルビ電話(83) 三六九五番

大阪伊丹商店工業部

大阪市西區中野一通一丁目十二番地 電話土佐堀一七四番

賀 正

最良最廉で歐米の道路界を風靡する

ツルとシヨベルとローラーで出来る自動車道路

ビチュユマルス 鋪装

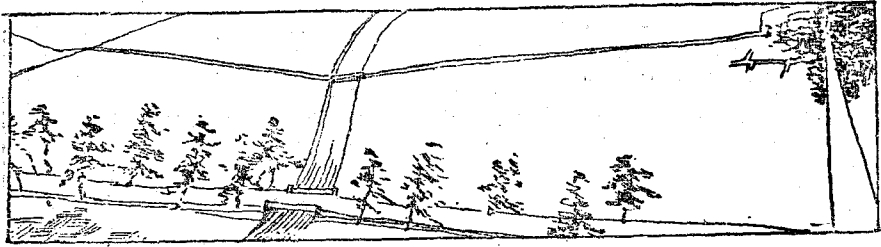
絶 對 特 色

- イ、在來の砂利道を其儘利用施工
- ロ、工費は最廉で、施工は最簡易、輕便
- ハ、工事は降雨、濕潤に無關係
- ニ、加熱の設備と經費は絶對無用
- ホ、維持修繕費の僅少と工事の輕便
- ヘ、夏季の熔出と冬季の氷滑は絶無

東京市神田區萬世橋際小泉ビル

關東總代理店 液体アスファルト工業所

電話 下谷 三六五九番



道路の改良 第十一卷 第一號 目次 昭和四年一月一日發行

口繪

竣功した吉野川橋

卷頭

言

論

說

(二)

昭和四年を迎ふ……………水野鍊太郎(三)

復興計畫と道路……………堀切善次郎(九)

道路工事費と工種の選擇に就て……………橋本圭三郎(元)

自動車の發達と自動車道……………中川正左(六)

道路改良問題に就て……………松木幹一郎(言)

帝都復興道路事業に就て……………田中廣太郎(兵)

指定府縣道の制度を論じて……………丹羽七郎(四)

産業道路補助政策に及ぶ……………廣瀬壽助(天)

幹線道路の施設及改良促進に就て……………廣瀬壽助(天)

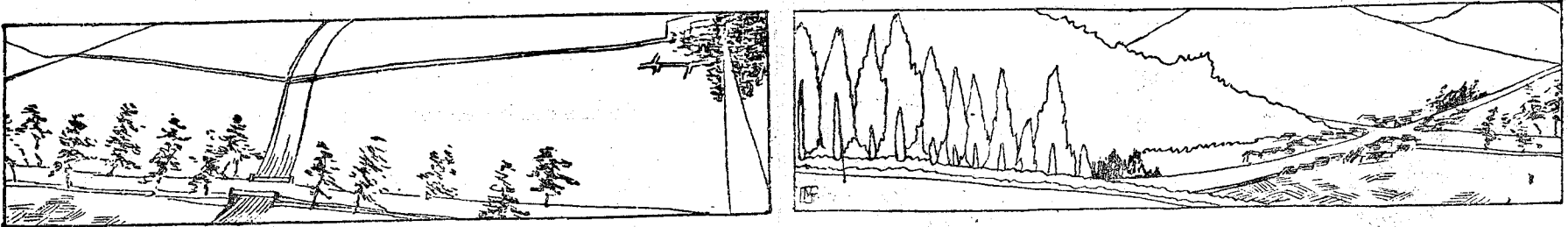
經濟的道路工事に就て……………三浦七郎(空)

都市交通機關の採擇に就て……………佐藤利恭(六)

近代道路の新工法に就て……………藤井眞透(金)

……………藤井眞透(金)

研究



鋼橋の工作と其の監督(三)……………青木楠男(一五)

時論

道路石材と其の熱影響に就て……………高田昭(一〇〇)

時論

交通會議の開催に就て……………田中好(二八)

時論

交通調査の結果をして意義あらしめよ……………梶井照藏(二三)

時論

道路改良と青淵子爵……………山田英太郎(二九)

時論

道路改良偶感……………阿部吾市(二三)

時論

紹介と批判……………田中好(二七)

時論

路政に關する新刊二三に就て……………村山喜一郎(二五)

時論

大禮と道路……………楠生(二六)

時論

神明國道改築斷感……………僧(一五)

時論

都市交通問題(六)……………平山泰治(一七)

時論

混泥土及鐵筋混泥土鋪裝(六)……………中末郁(二八)

時論

路政夜話(二)……………武井群嗣(一九)

時論

獨逸の新自動車交通令(二)……………右田鐵四郎(二八)

時論

米都市交通取締條例準則理由書(一)……………瀧川勸則(三四)

漫錄

上海香港の道路視察に就て……………坂本一平(三三)

漫錄

ミシガンよりニウヨウクまで……………江守保平(四七)

漫錄

海外道路時事……………物部長穗(二六)

漫錄

佛或橋梁構造令の改正……………米國に於ける橋梁用

漫錄

獨逸に於ける各種簡易鋪裝の經濟比較……………加奈陀

漫錄

鋼材の標準許容應力度……………加奈陀

漫錄

セメントの長期貯藏に依る強度の低下……………加奈陀

東北方面……………九州方面……………(一七)

訓令、通牒……………實疑應答……………(二六)

交通會議と附議事項……………二幹事の囑託……………(二六)

昭和三年路政小史……………道路改良會編輯部……………(二八)

叙任辭令……………編輯室の内外……………(二九)

謹賀新年

祈會員諸彦之御健康

昭和四年一月一日

道路改良會編輯部

主任幹事、田

中

祝

井

貞

好

枝

川

正

一

永

山

小

兵

衛

右

田

鉄

四

郎

淺

香

小

兵

弘

松

尾

吾

策

東

島

東

彰

瀧

川

勸

則

原

田

東

平

堀

山

長

勇

治

水

越

松

男

榊

長

良

優良無比の國産アスファルト

堅牢第一

ワレナイトビチュリック舗道

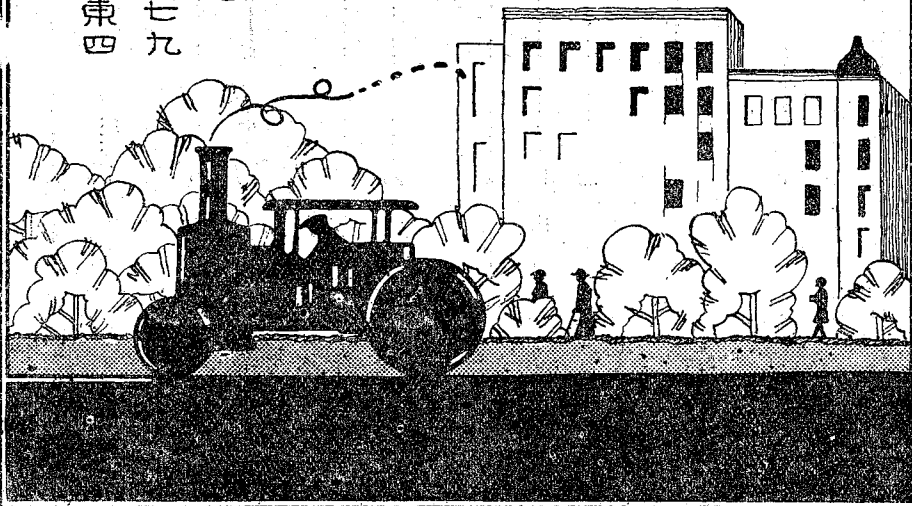
賀正

國産アスファルト製造販賣工事
アスファルト其、他一般道路工事
ワレナイトビチュリック舗道手施工

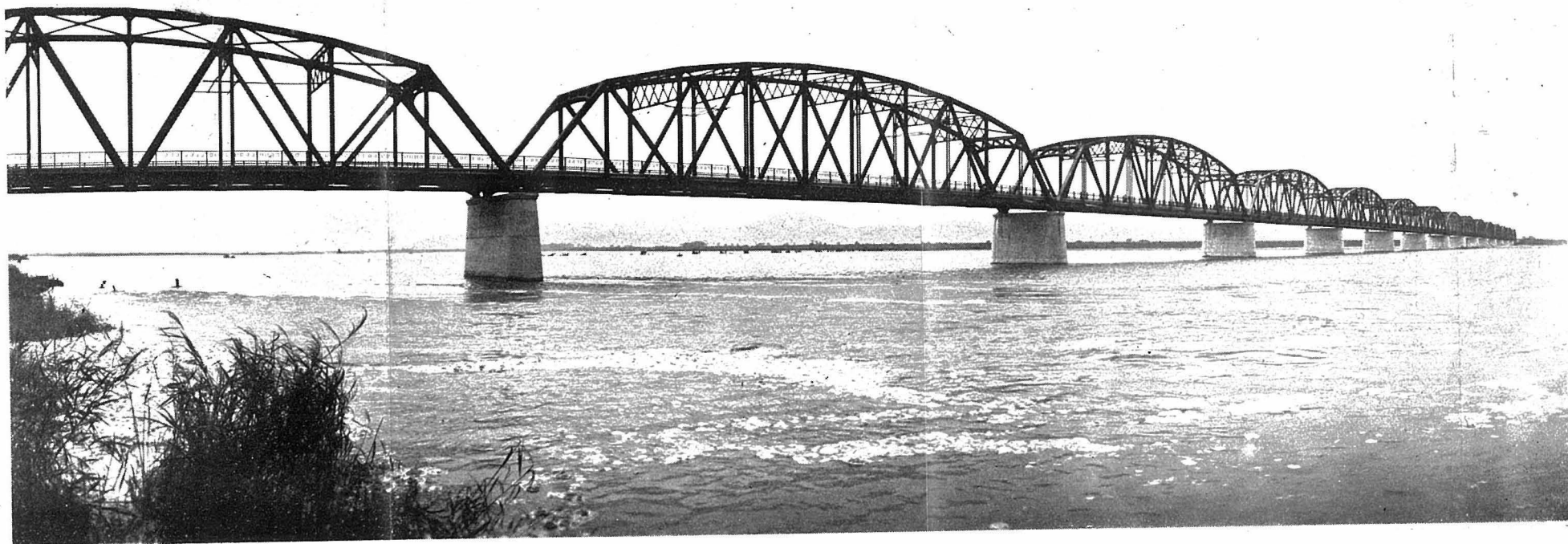
日本石油株式會社道路部



東京丸の内有樂館 下関・岬・町七九
大阪西區江戸堀南通一 小樽花園町東四



竣功した吉野川橋



工事の概要

橋長	3,531尺	型式	曲絨ワーレン式構桁
有効幅員	20尺	工費	1,134,166圓
一徑間長	207尺7		
徑間數	17		

賀 正

日本土木建築株式會社

東京市芝區兼房町五番地

電話銀座(57) 〇二四
九八九
二四〇
五七五
番番番

大正八年創業資本金六百八拾五萬圓

鋪 裝 專 門

專特エタナル
アスファルト
東京瓦斯
特製タール

道路 高級鋪裝
簡易鋪裝

專特屋上運動場兼防水工事

專特エタナル
專特タール

校庭鋪裝

タークレーは校庭鋪裝の記録保持者

既に東京横濱にて百六十餘校施工す

謹賀新年

昭和四年一月一日

道路改良會

顧問 子爵 澁澤 榮一
同 床次 竹二郎
會長 水野 鍊太郎
副會長 內田 嘉吉
理事 宮崎 通之助
同 山田 英太郎

同 松木 幹一郎
同 中川 正左
同 中島 久萬吉
同 桐島 像一
同 長岡 隆一郎
同 堀切 善次郎

同	同	幹事	同	監事	同	同	同	同	同	同
岡田文秀	伊藤武彦	丹羽七郎	大橋新太郎	橋本圭三郎	物部長穗	廣瀬壽助	前川貫一	加賀山學	笥正太郎	佐上信一

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
小島效	都筑通督	岩澤忠恭	三浦七郎	佐藤利恭	牧野雅樂之丞	藤岡長敏	大村清一	田中好	武井群嗣	飯沼一省



謹賀新年

昭和己巳元旦

東京市京橋區疊町八番地片倉ビル四階

日本ソリデチット株式會社

取締役會長	今井五介
常務取締役	櫻澤鶴吉
取締役	山岸慶之助
監査役	高橋鍊逸
同	片倉武雄
本社	販工部
工場	製工部
横濱	出張部
大阪	出張部

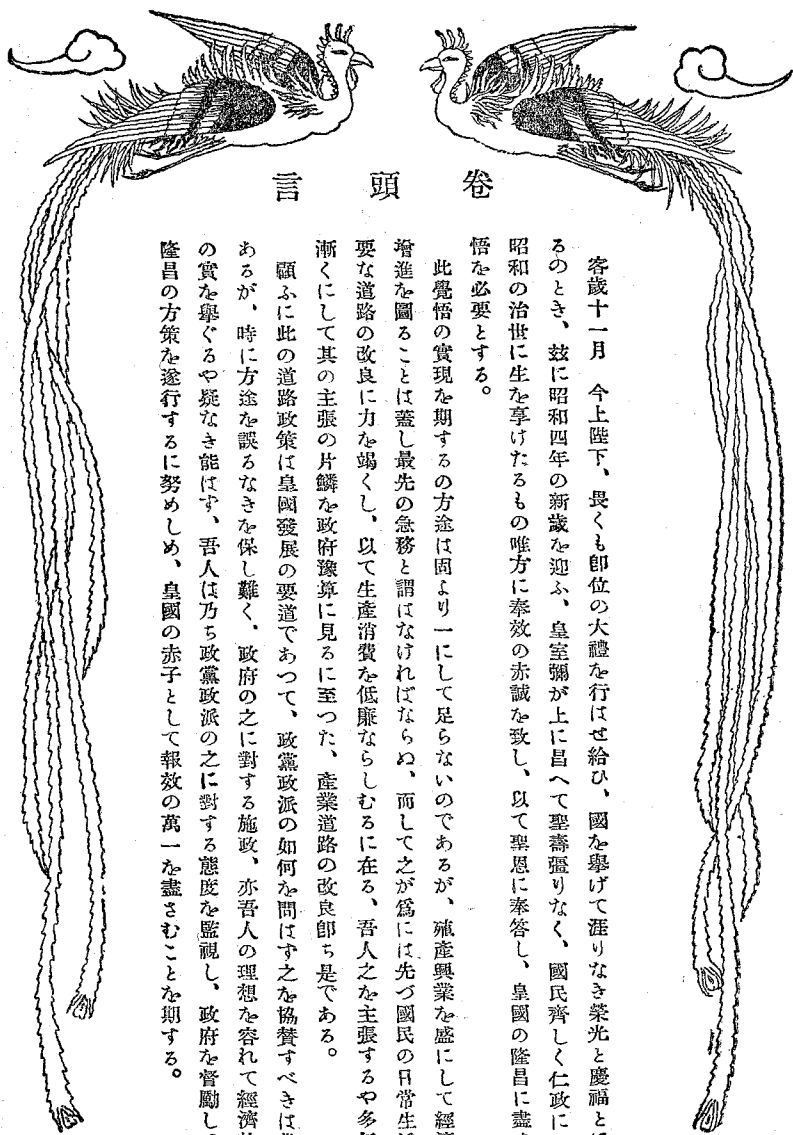
昭和四年

道路の改良

一月一日

第十卷

第一號



卷頭言

客歲十一月 今上陛下、長くも即位の大禮を行はせ給ひ、國を擧げて涯りなき榮光と慶福とに満つるのとき、茲に昭和四年の新歲を迎ふ、皇室彌が上に昌へて聖壽疆りなく、國民齊しく仁政に浴す、昭和の治世に生を享けたるもの唯方に奉效の赤誠を致し、以て聖恩に奉答し、皇國の隆昌に盡すの覺悟を必要とする。

此覺悟の實現を期するの方途は固より一にして足らないのであるが、殖産興業を盛にして經濟力の増進を圖ることは蓋し最先の急務と謂はなければならぬ、而して之が爲には先づ國民の日常生活に必要な道路の改良に力を竭くし、以て生産消費を低廉ならしむるに在る、吾人之を主張するや多年、今漸くにして其の主張の片鱗を政府豫算に見るに至つた、産業道路の改良即ち是である。

顧ふに此の道路政策は皇國發展の要道であつて、政黨政派の如何を問はず之を協賛すべきは當然であるが、時に方途を誤るなきを保し難く、政府の之に對する施政、亦吾人の理想を容れて經濟的築道の實を擧ぐるや疑なき能はず、吾人は乃ち政黨政派の之に對する態度を監視し、政府を督勵して皇國隆昌の方策を遂行するに努めしめ、皇國の赤子として報效の萬一を盡さむことを期する。